

令和7年度 立川市子ども委員会

令和7年度 子ども委員会「人とペットの防災」グループ 活動報告

子ども委員会は「夢育て・たちかわ 子ども21プラン」の推進にあたり、公募による市内在住・在学の子どもの集まり、立川市の今と未来を考え、自主的な活動を通して、意見や考えを発表する取り組みです。

令和7年度の子ども委員会は11名の小学4年生～中学2年生が集まり、活動を行いました。人とペットの防災グループは、そのうちの6名で活動を行いました。

◇第1回子ども委員会 令和7年6月8日（日）

*自己紹介、活動方針、委員長、副委員長、書記選出

- 「子どもの権利について」話を聞きました
- 今年度の委員長、副委員長、書記を決めました
- 今年度の活動テーマについて話し合いました

◇第2回子ども委員会 令和7年7月13日（日）

*活動テーマを決定

- 人とペットの防災について



[新潟県は過去に複数回被災していたので、その被災した年ごとの話を聞きました]

新潟県は過去に何度も被災しています。
実際にペットと一緒に困った経験があったかなど、親戚の叔母さんに聞きました。

2004年 中越地震

ひいおばあちゃんの家にトラちゃん（猫）がいた。
震源地付近に住んでいて被害にあった。
トラちゃんは驚いて、家を飛び出してしまった。
帰ってくるかもしれないし、心配なので避難所には行かなかった。
一週間経って帰ってきた。

2007年 中越沖地震

くうちゃん（犬）がいた。
すごい揺れ震源地が近い。道路は亀裂が入っていた。冷蔵庫ずれ、家具はぐちゃぐちゃ。
くうちゃんと車で2日間過ごした。とても怯えていた。水を飲まなくなり、心配だった。
余震がひどい。ずっと怯えていて、辛そうだった。

1ヶ月水が出なかったが、原発が近くにあるので電気は止まらなかった。
この地震の時に細かい【災害ガイド】ができた。
原子力発電所がある柏崎の自然編とか細かく分かれている。
→ケージが用意されている 市の対策が増えた 柏崎の生活ガイドが充実している

2024年 石川県地震

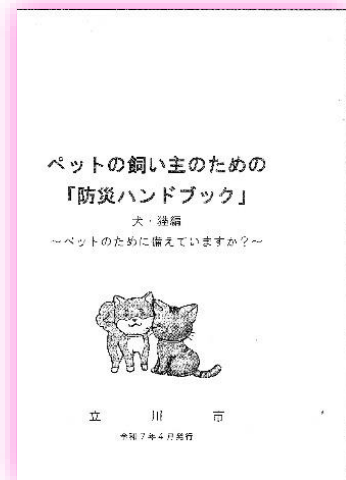
ペットがこの時はいなかった。津波避難の為、避難所には行かなかった。
津波の時の高台に、お隣のおばあさんを連れて歩いて歩いていた。
車が繋がっていた。めちゃくちゃだった。道路は車で埋まっていた。

災害が沢山あった柏崎市は、7/25 に市役所の防災原子力課がボランティアグループとスターキットを使用した、ペット避難所開設訓練を行っていたようです。
8/23 に行ってきたペット防災講座では、お話をした人が立川市はペットについてまだ何も進んでいないと言っていました。他の市のように、ペットも行ける避難所を立川市も必要だと思いました。
あと、府中市の叔母さんにも話を聞きました。ペットの防災訓練があったと言っていました。



8月23日（土）に、子ども未来センターで 行われた「ペット防災講座」を、保護者と一緒に受けた人もいました

(参考) 立川市作成



◇第3回子ども委員会 令和7年9月7日（日）

＊中学生の子ども委員が、実際に体験した話をしてくれました

【要旨】（立川市内でのことです）

私の家には今、5頭の犬と一緒に暮らしています。大型犬が2頭、小型犬が3頭です。何年か前に大きな台風が来ました。大雨大風がひどく、外に出られないくらいでした。その時住んでいた場所は多摩川の河川敷近くのマンションでした。ベランダから多摩川の様子が見えて、川がどんどん広がって行くのもわかりました。防災無線のスピーカーから、避難を促す放送が流れ始めていました。川の水が土手のギリギリまでできていました。コーヒー牛乳みたいな色で、ザバザバと勢いを増しながら流れていた事も覚えています。母の友人からの情報で、近くの会館や小学校などに避難できる事がわかったのですが、その時点でどこにも入ることができませんでした。理由は人数オーバー、犬を連れての避難はダメとの事でした。

結局避難せず、台風も通り過ぎて、何の問題もなく終わりましたが、本当に避難しなければならなかった事を思うと、心配は心に残っています。ペットは家族なのです。命がありペットも人間と同じ避難場所がないと困ると思っています。（以下省略）

◇第4回子ども委員会 令和7年10月5日(日)

◆立川ペット防災チームの方に話を聞きました

- ①立川市は地震に強いまちだと思いますか？
- ②大きな地震が起きたら最初にどうしますか？
- ③地震がおさまった後どうしますか？



★家族との連絡方法を決めておきましょう

災害時の電話はほとんどつながらないが、

公衆電話は復旧が早いので、10円硬貨を用意しておきましょう

★大切な人の連絡先・方法をメモしておきましょう

★災害用伝言ダイヤル「117」を活用しましょう

◎東日本の震災の時、被災した人たちのペットたちは

どうしていたのでしょうか？

・津波や水害にあったペットたちは、引き取り手がみつかるまで、

5年くらいかかっていた

★立川は今のところ、避難所までは一緒に行って、校庭などに

つながれるようになるそうです。同行避難とは言われているけれど・・・

★トイレ対策も大事です

★ペットは飼い主が何とかしなければいけません

ケージや段ボールは自分たちで用意しましょう



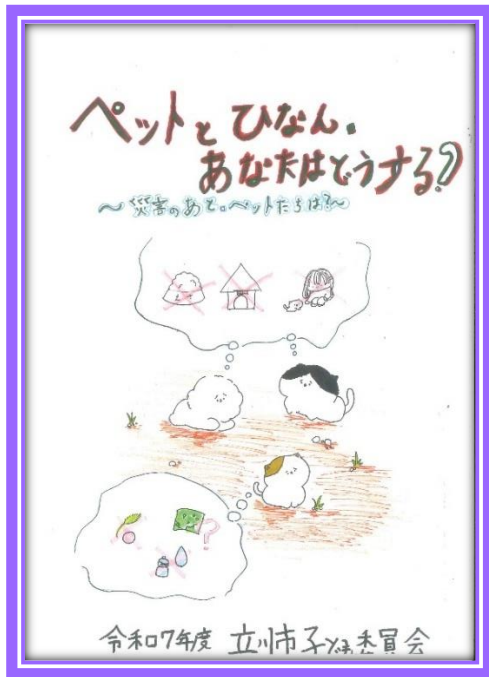
◇第5回子ども委員会 令和7年11月30日(日)

立川市の人たちにどういふ方法で伝えるのがいいのか、

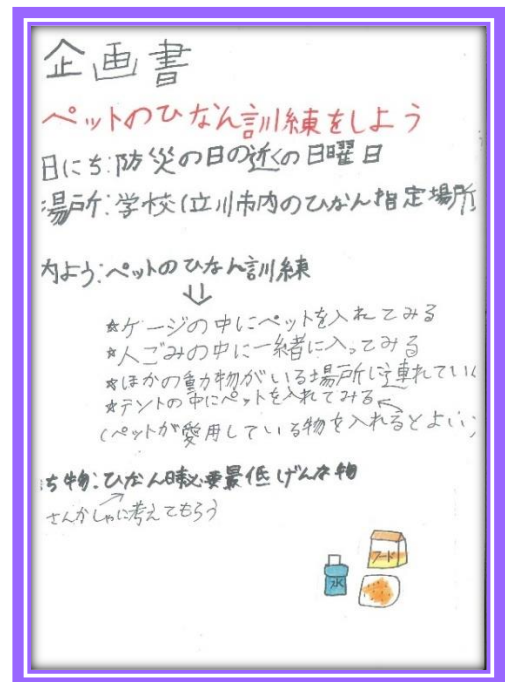
考えました ⇒ **ポスターを作り、イベントを企画したい**

◇第6回子ども委員会 令和8年1月11日(日)

*ポスター



*企画書

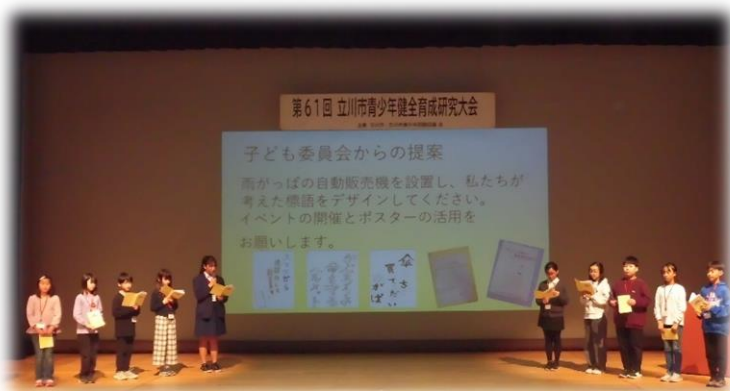


◇第7回子ども委員会 令和8年2月7日(土)

立川市 青少年健全育成研究大会 (子ども委員会 発表)

場所: たましん RISURU ホール (小ホール)

*ロビーにポスターと企画書を
掲示しました



◇年間のまとめ

私たち子ども委員会は以上のことから、「誰もが安心して暮らせる立川市」への取り組みとして、立川市へ提案します

立川市への提案

- 1, 今はペットが避難所の建物の中に入れないので、災害時にペットが避難できる屋内の避難所を設置してください。
- 2, 飼い主が災害時に備えて日頃から考えておくべきことを、より多くの人に伝えられるよう、ペットショップや動物病院などにポスターを掲示し、イベントを開催してください。



提案書を酒井市長に渡しました

たましん RISURU ホール（立川市市民会館）小ホールにて

以上